

鉄構・がいし・地線・ 付帯設備の無料点検



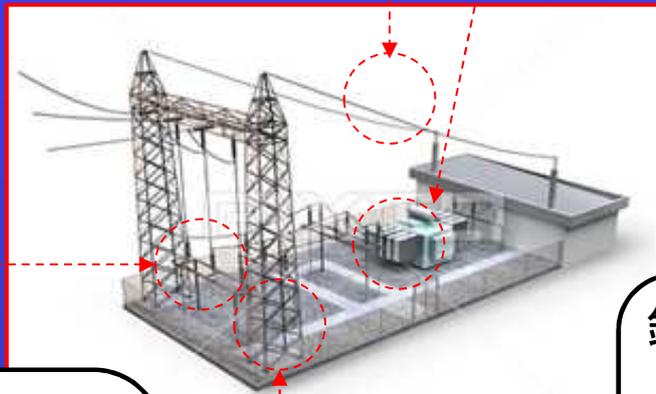
- 弊社では、鉄構設備の点検など、従来の技術に加え、現在ドローンを活用し効率化を図っています。このノウハウを使い少しでもお役に立てられれば！

架空地線の発錆

GSW(鋼線)の場合、30年程度で張替えが必要です。放置すれば何れ破断し、電気事故に繋がりますので、張替時期をご提案します。また、端子部の健全性も確認します。

がいしの汚損

汚れが進むと絶縁が保たれなくなり電気事故に繋がりますので洗浄時期等をご提案します。また、旧仕様では、耐アーク性能が弱いため、取替をお勧めしています。



圧縮端子の劣化

圧縮端子は、異金属で接合していることから、経年により電蝕による劣化(異金属接合部の剥がれ)が見られることから健全性を確認します。

昇降設備など

鉄構に昇ったり作業する頻度は少ないですが、いざという時に、不具合があれば、作業をする方の安全にも影響します。昇降設備や足場ボルトの健全性を確認します。

鉄構の発錆

鉄構の延命には、定期的な塗装が必要です。放置すれば錆により鉄地が減肉、必要な強度が保てなくなり、倒壊の恐れもあります。必要なメンテナンスをご提案します。

鉄構の変位

地震による影響等で鉄構の変位する場合があります。部材の曲がり等を確認により健全性を判断します。



✓その他の不具合も報告します。